

観光 エキスパート

今月の表紙
～宮崎県～

2025

8



目次

2025 年日本観光特産大賞_ノミネート応募が 8 月上旬より	2
2025 年日本プロモーション大賞_エントリー応募受付中	4
2025 年度全国一斉資格試験 11 月 9 日(日)開催	6
特別コラム第 2 回 植田 聡子「インバウンド観光の新潮流:体験価値を高める戦略」	8
認定講師登録制度について	9
第 145 回 MMP®研究会 セールスステップでどのようにして実績を残すか 無料開放講座	12
白書を発行した観光庁の担当官によるリアル生講義「観光白書セミナー2025」	14
第 143 回 MMP 研究会 場おこし講座『観光 5 資源体系』	17
MMP®リーダー研修 企画担当者向け「MMP スキルアップコミュニケーション」	19
第 146 回 MMP®研究会 セールスステップ IT インターネット活用セミナー	22
組合まつり in TOKYO (東京国際フォーラム)開催 10 月 29 日(水)～30 日(木)	24
MMP®リーダー研修 テーマ「農林水産業×フードバンク」地域金融機関との連携事業	26
観光士・観光特産士・販路コーディネータ資格取得を目指している方は必見	31
観光プランナーを団体で受験を希望される学校・企業・団体様へ	32
モーイブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集!	34
MMP 総研 研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～	35
紙の本と学ぶ映像 MMPコミュニケーション	36
JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中!	37
MMPグループ・ホームページ & 資格研修スケジュール	38

今号の表紙 ～宮崎県～

写真上：高千穂峡

高千穂峡は、阿蘇火山の火砕流が生んだ高さ 80～100m の断崖が約 7km 続く、神話ゆかりの絶景渓谷である。柱状節理の岩壁とエメラルドグリーンの水、名瀑・真名井の滝が織りなす神秘的な景観は圧巻、遊歩道や貸しボートで四季折々の自然美を堪能できる観光スポットである。



右下：都井岬

都井岬は宮崎県最南端、太平洋に突き出す絶景の岬である。白亜の都井岬灯台からは、日向灘や緑豊かな山々を一望できる。最大の魅力は、国の天然記念物・御崎馬が放牧される草原で、野生馬がのんびり草をはむ姿を間近に観察でき、春には可愛い仔馬も見られる。自然と動物の共生を体感できる癒しのスポットである。

左下：日向夏

太陽の恵みをたっぷり受けた宮崎生まれの日向夏は、爽やかな香りとやさしい酸味、ふわふわの白皮が織りなす唯一無二の味わいが魅力。果肉と白皮を一緒に食べることで生まれる、まろやかな甘みとジューシーな食感は、他の柑橘にはない特別な体験ができる。春の訪れを告げる旬の味覚、お土産や贈り物にもぴったりの日向夏は、訪れた人たちに甘酸っぱい思い出を彩ってくれる。

2025 年日本観光特産大賞ノミネート応募が 8 月上旬より**【主催】 一般社団法人 日本観光文化協会****【運営】 日本観光特産士 運営事務局**

日本観光特産大賞とは「日本観光特産大賞」とは、毎年 12 月に一般社団法人日本観光文化協会が、食と観光、地元グルメ、お土産品などでその年話題になった観光特産品を表彰

してゆく制度です。観光特産品の知名度・ブランド力向上を目的としており、今年で 7 回目の開催となります。

この活動の目的は、日

本各地で育成されている観光特産品を再発見、再発掘し、一定の価値を付与することで、知名度やブランド力向上に寄与し地域の活性化を後押しするものです。

また、協会では表彰された観光特産品の時代背景や、社会的な価値などを調査分析し、内外に発信をしております。

ノミネート応募するには…?



観光特産士の資格を取得していただくことで、日本観光特産大賞にノミネート応募ができます!!

観光特産士になって、あなたも応募しよう!

**◇観光特産とは**

当協会において「観光特産」とは、「観光資源と地域特産の融合によって生み出された商品及びサービス」のことで、「観光特産＝観光資源×地域特産」という公式で定義しています。

日本観光特産の表彰については、以下の基準があり、この中のいずれか基準に達していることが必要です。

- 1.観光資源(5 体系)を活用した地域の特産品、特産物であること。
- 2.特徴的、差別化された「コトづくり」及び、「場おこし」の活動を行っていること。
- 3.食と工芸、そして観光、地元グルメ、お土産品などで、今年話題になった、特産品、特産物開発であること。

◇「地元の観光特産」を推薦しよう!

観光特産大賞エントリー応募は8月上旬から始まります。

推薦する特産の写真などは、応募フォームの「参考 URL」の項目に、下記のいずれかの URL を載せて応募します。

【応募詳細はこちら】 <https://jtmm.jp/award/>

- ① 掲載されている参照先のページリンク
- ② インターネットのオンラインストレージ(例 [https:// firestorage.jp/](https://firestorage.jp/) など)にアップロードしてそのリンクを直接貼り付けて、お送りいただく

8 月 1 日(金)応募開始!**[2024 年度日本観光特産大賞はこちら](#)**

◇2025 年度 日本観光特産大賞応募要項

- 1.観光資源(5 体系)を活用した地域の特産品、特産物であること。
- 2.特徴的、差別化された「コトづくり」及び、「場おこし」の活動を行っていること。

※注 当協会において「観光特産」とは、「観光資源と地域特産の融合によって生み出された商品及びサービス」のことで、「観光特産＝観光資源×地域特産」という公式で定義しています。

◇大賞発表までのスケジュール

ノミネート募集開始: 8 月上旬
ノミネート応募期限: 11 月上旬
11 月:「観光特産大賞」決定
12 月初旬:プレスリリース

◇選考方法

最終選考では 8 名の専門家が審査員となり、ノミネートされた特産品に 1 位から 10 位までランキングを付け、ポイントによる加点方式で集計し、「観光特産大賞 グランプリ」、「金賞 優秀賞」、「金賞 ニューウェーブ賞」を決定してゆきます。

◇日本観光特産大賞のこれまでの実績は、下記よりご覧ください。

[<第 1 回 : 2019 年>](#) [<第 2 回 : 2020 年>](#) [<第 3 回 : 2021 年>](#) [<第 4 回 : 2022 年>](#)
[<第 5 回 : 2023 年>](#) [<第 6 回 : 2024 年>](#)



2025 年日本プロモーション大賞_エントリー応募受付中

マーケティングや販促、ブランディング分野で優れたプロモーション活動を表彰するイベントです。応募締切は 9 月 14 日。自社や関係する商品・サービスのプロモーション活動をぜひご応募ください。



【応募詳細はこちら】 <https://www.jsp.or.jp/award/kitei.html>

【エントリーシートのダウンロードはこちらから】

エントリーシート
(word)

日本プロモーション大賞 応募概要

目的	本賞は、優れたプロモーション活動を表彰し、マーケティング・販促・ブランディングの発展に寄与することを目的とする。 特に、創造性・影響力・持続可能性を兼ね備えたプロモーションを評価し、その手法や成功要因を広く共有することで、業界全体の発展を促進する。 主催：日本販売促進協会
応募資格	協会会員に限らず、どなたでもご応募いただけます。
エントリー条件 (対象)	本賞の対象は、企業・団体・個人が行ったプロモーション活動であり、以下のいずれかに該当するものとする。 1. 市場にインパクトを与えたキャンペーン(新規性・話題性) 2. 消費者の行動変容を促した施策(参加型・エンゲージメント) 3. ブランド価値向上に貢献した事例(ロイヤルティ強化) 4. 地域・社会への影響を生んだ活動(CSR・社会貢献) 5. 継続的な成果を出した施策(短期・長期のバランス)
審査基準	審査は、以下の 5 つの観点で評価する。 1. 創造性(Innovation) ・新しい発想を取り入れているか／独自性があるか 2. 話題性(Buzz & Engagement) ・メディアや SNS で話題を生み出したか／共感を得られたか

	3. 効果 (Impact) ・目標を達成したか／成果がデータで裏付けられているか 4. 持続可能性 (Sustainability) ・長期的な影響を持つか／環境・社会・経済に配慮しているか 5. 適用可能性 (Scalability) ・他社への応用可能性があるか／今後の参考になるか
賞の種類	以下の賞を設け、各分野で特に優れたプロモーションを表彰する。 1. グランプリ (最優秀賞) 2. 優秀賞 (1 件) 3. 部門賞 (広告・広報 各 1 件)
応募・審査の流れ	1. 応募期間: 7 月 1 日 (火)～9 月 14 日 (日) 2. 予備審査: エントリーシートに基づき一次選考 3. 本審査: 審査員による採点 4. 最終審査: 2025 年 12 月初旬実施予定
審査方法	審査委員長と審査委員 5 名、事務局を含む計 7 名による非公開審査会を経て審査します。 「大賞」「金賞」「特別賞」の受賞者には、2026 年 1 月に表彰状をお送りします。

■日本プロモーション大賞 グランプリ 「すなば珈琲」

◆受賞団体 有限会社 SUNABACOMPANY

◆プロモーション活動 鳥取県に拠点を置くコーヒーチェーンで、鳥取砂丘の砂を使用して焙煎した「砂焼きコーヒー」を提供しています。この独特な製法により、ほどよい苦味とまろやかな味わいが特徴のコーヒーが楽しめます。自社のサイトでは、店舗情報や商品の詳細、オンラインでの購入方法などが確認できます。
で 110%以上に拡大させたプロモーションです。



【そのほかの過去の受賞はこちら】 <https://www.jsp.or.jp/award/2024.html>

2025 年度全国一斉資格試験 11 月 9 日(日)開催

2025 年度上期の「全国一斉資格試験」は「観光士」「観光特産」「商品開発」「営業販売」「販促広報」「マネジメントマーケティング」資格について、オンラインで全国試験を実施します！

日本観光士会では、「観光プランナー」、「観光士」、「観光コーディネーター」の3資格、全国観光特産士会では、「観光特産士 4 級」、「観光特産士 3 級」、「観光特産士 2 級」、「観光特産マイスター」の4資格を認定しています。



これからの観光は、ますます地域が一体となって取り組むべきものとなっています。そのため、「まちづくり、村おこし」から「街づくりの3ステップ」(地域ネットワークづくりと人材育成といった受け入れ態勢の充実化、地域資源の収集・発掘・整理、商品化システムの構築)、そしてエリア・アイデンティティ＝地域ブランドを確立していくことのできる観光コーディネーターの役割が重要となります。観光学や観光マーケティング、観光ビジネス論などの知識習得のみに留まらない、よりプロデューサー的な視点が求められており、日本観光士会ではそういった内容が学べます。

日本観光士会では、「観光 5 資源体系」によって地域を分析・評価し、観光資源の発掘と場おこしを進めながら取り組める人材、変化した価値観やライフスタイル、観光 DX や MaaS などにも対応した新しい観光マーケティングを提案し、その地域ブランドを確立していける人材を育成しています。

また、キャリアアップやリスキリングに役立つカリキュラムを提供しています。

たとえば観光庁が指摘する課題に対しては、関係者の巻き込みが不十分などは、協会の観光資格では「まちづくりの3ステップ」などによる課題解決への提案をしているなど、実践的なアプローチを学んでいただくことで、観光庁が期待する日本版DMOの形成・確立を支援できる人材を目指すことができます。

取得された方は現在、観光協会など官民間問わず多くのアドバイザー、大学講師などとして活躍しています。

観光学や観光マーケティング、観光ビジネス論などの知識習得のみに留まらない、よりプロデューサー的な視点が求められており、日本観光士会ではそういった内容が学べます。

観光事業に関連した商品開発、販路開拓、営業などの資格を認定も含めて、試験はオンライン形式で、パソコンよりインターネット接続ができる環境であれば、協会の教材に基づいた試験が全国どこからでも受験できます。

2025 年度下期全国一斉資格試験は、11 月 9 日(日)に開催予定です。オンライン試験フォームでラジオボタン、チェックボックスで選択する選択問題です。

観光に関する7資格以外の公認資格は、セールスステップ資格(3資格)、営業士資格(3資格)、商品開発資格(3資格)、プロモーション資格(3資格)、マネージメントコーディネーター資格(1資格)が準備されています。

観光関係を含めて、各資格の試験情報は以下 URL からご確認ください。

-
- | | |
|-------------|---|
| ◆観光プランナー | http://www.jtcc.jp/kankoshiho/shiken.html |
| ◆観光士 | http://www.jtcc.jp/kankoshi/ |
| ◆観光コーディネーター | http://www.jtcc.jp/kanko_coordinator/shiken.html |
-



-
- | | |
|------------|---|
| ◆観光特産士 4 級 | https://jtm.jp/tokusan4/ |
| ◆観光特産士 3 級 | https://jtm.jp/tokusan3/ |
| ◆観光特産士 2 級 | https://jtm.jp/tokusan2/ |
| ◆観光特産マイスター | https://jtm.jp/tokusanmeister/ |
-

-
- | | |
|----------------|---|
| ◆販路コーディネータ3級 | https://www.hanro.jp/shikaku/cd3.html |
| ◆販路コーディネータ 2 級 | https://www.hanro.jp/shikaku/cd2.html |
| ◆販路コーディネータ 1 級 | https://www.hanro.jp/shikaku/cd1.html |
-

-
- | | |
|-----------------|---|
| ◆セールスステップ3級 | https://www.jrep.jp/shiken/siken_3rd.html |
| ◆セールスステップ 2 級 | https://www.jrep.jp/shiken/siken_2nd.html |
| ◆セールスステップ・マイスター | https://www.jrep.jp/shiken/siken_1st.html |
-

-
- | | |
|----------|---|
| ◆営業士初級 | https://www.nrep.jp/shiken/shiken_shokyu.html |
| ◆営業士上級 | https://www.nrep.jp/shiken/shiken_jyokyu.html |
| ◆営業士マスター | https://www.nrep.jp/shiken/shiken_master.html |
-

-
- | | |
|---------------|---|
| ◆商品プランナー | https://www.jmcp.jp/course/planner/planner.shiken.html |
| ◆商品開発士 | https://www.jmcp.jp/course/product_planning/ |
| ◆商品開発コーディネーター | https://www.jmcp.jp/product_coordinator/ |
-

-
- | | |
|-------------------|---|
| ◆プロモーション・プランナー | https://www.jsp.or.jp/shiken/beginner.html |
| ◆プロモーション・プロデューサー | https://www.jsp.or.jp/shiken/intermediate.html |
| ◆プロモーション・コーディネーター | https://www.jsp.or.jp/shiken/advanced.html |
-

特別コラム 3 号連載 第 2 回 植田 聡子

「インバウンド観光の新潮流：体験価値を高める戦略」～なぜ“体験”が選ばれるのか～

インバウンド観光は明らかに質の転換を遂げつつあります。「訪問」から、「共感」や「没入」を伴う体験型観光へとニーズが変化しています。背景には、世界的なサステナビリティ志向の高まりや、SNS を通じた“語れる体験”への価値の上昇があります。

地方都市にとっては、知名度が低い分、独自性ある体験価値の創出こそが勝機となります。本稿では、体験型・サステナブル観光の必要性とともに、事例から成功のヒントを探ります。

1. 変化するインバウンド需要：“観る”から“体験する”へ

観光客の動機は、単なる観光名所の訪問から、「その地域でしかできないこと」へとシフトしています。今、求められているのは、自分がその土地の一部になったような没入感。今年 7 月に沖縄北部のやんばるエリアに沖縄のやんばるの大自然を利用したアウトドアアクティビティ「ジャングリア」がオープンします。キーワードは「自然への没入感と贅沢感」。USJ をはじめ数々のテーマパークを成功に導いてきたマーケターの森岡毅氏が長年追い求めてきた場所です。



2. サステナブルな視点と特別感の両立

持続可能性という言葉は、観光の世界でもスタンダードとなりました。地域の資源を活かしながら、環境や文化に配慮したツーリズムが国際的にも評価されています。



長野県飯山市では、雪国の自然を活かし、冬季に期間限定でオープンする「かまくらレストラン」が人気を集めています。地元の食材を使った温かい料理を、雪でできたかまくらの中で楽しむという非日常体験は、まさに“その場でしか味わえない”体験の象徴です。

また、都内では「金継ぎ」体験が訪日客から高い関心を集めています。壊れた器を漆で修復し、美しく生まれ変わらせるこの伝統技法は、日本の“直して大切に使う”精神に触れる機会となり、文化的なサステナビリティを体感する場となっています。

3. 体験価値を高める仕掛け：五感と物語

観光体験を印象づけるには、“物語性”と“五感の刺激”が鍵です。松本城では、夜間貸切でのフレンチディナーを開催し、地元のシェフによるコース料理と、ガイドによる城の歴史解説を組み合わせました。視覚・聴覚・味覚を刺激するこのプログラムは、記憶に残る特別な時間となったことでしょう。



4. 地域の価値を“体験”で伝える時代へ

今後のインバウンド観光は、“何を見たか”ではなく、“何を体感し、どんな物語を持ち帰ったか”が評価の基準となります。地方都市が選ばれるためには、地域の資源や文化を丁寧に掘り起こし、「ここに来なければ味わえない」体験へと昇華させる視点が必要です。

観光は、地域そのものの価値を伝える表現手段。体験型・サステナブルな観光が、その要となっていくことは間違いありません。

認定講師登録制度について

MMP 総研では毎年度、企業及び公的研修、資格認定研修プログラムや MMP®等の認定講師を認定しています。協会からの各都道府県の派遣者講師、東京都中央会などの専門家派遣の方々などは、認定講師登録者が条件となっており、協会認定講師の方は各産業界で幅広く活躍されています。ご活躍されている認定講師の方をご紹介します。

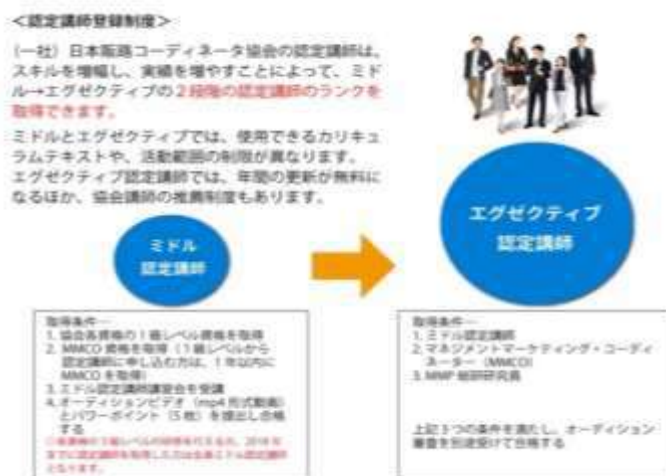


◆ 日本販路コーディネータ協会 認定講師紹介 <https://hanro.jp/jmc/leader.html>

◆ 日本観光士会 認定講師紹介 <http://www.jtcc.jp/koushi/index.html>

◇ お持ちのライセンス資格の認定講師は、ミドルは 3 級、エグゼクティブは 2 級、3 級を教えることができます

【認定講師登録制度の詳細はこちら】



<ミドル>

お持ちのライセンス資格の 3 級クラス講師として教えることができます

<エグゼクティブ>

お持ちのライセンス資格の 2 級、3 級クラス講師として教えることができます

■ミドル認定講師とエグゼクティブ認定講師の資格認定の登録制度

観光士会 <https://www.jtcc.jp/event/koushi.html>

場おこし認定講師 <https://jtm.jp/baokoshi-nintei/>

販路コーディネート <https://www.hanro.jp/event/koushi.html>

セールスレップ <https://www.jrep.jp/inforep/koushi.html>

営業士会 https://www.nrep.jp/eigyoushi_info/koushi.html

商品開発 <https://www.jmcp.jp/koushi/>

販売促進 <https://www.jsp.or.jp/event/koushi.html>

■ミドル認定講師・登録制度の概要

◇ ミドル認定講師とは

企業、専門学校、大学を対象とした、販路コーディネータ 3 級レベルの研修を行うことができる認定講師です。MMCO 資格保有者であって、ミドル認定講師養成研修受講の講師であることを基本としています。

◇ 本格的な企業研修、学校教育

認定講師は事務局に届出の上、公式テキストを使用した企業内研修を開催できます。
本格的な企業研修、学校教育では、

- ① 3 級研修講師は MMCO 資格取得者で、ミドル認定講師が必須条件となっています。
- ② 研修内容は、相手先の要望に合わせることができます。また、実施時には協会の研修ツールを随時、分野ごとに各研修先企業に合わせて編集しますが、その著作権等は協会に帰属しています。
- ③ テキストは、書籍、公式テキスト、事例問題、DVD などが協会から発行されているものに遵守します。

◇ 参加資格 MMCO 資格を取得している方

◇ 登録台帳および名簿の作成等

講師登録者の氏名等は、本協会備え付けの講師登録者台帳に記帳します。

※講師は 3 級レベル、2 級レベル、1 級レベル向けごとの登録制度としています

(2 級レベル講師登録者は 3 級レベルの資格研修を行うことができます)。

※各地域の JMC 認定研修センターにおいては、每期ごとに 3 名以上の講師登録者の申請、在籍を必須としています。

※講師は年度ごとに更新が必要です。

◇ 認定講師の活動分野について

(一社)日本販路コーディネータ協会のカリキュラムに沿った講師活動が認められる。

民間企業向けカリキュラム研修講師など

- ・認定登録者向け研修:(一社)日本販路コーディネータ協会 MM 戦略会議研修及び研修カリキュラム講師等
- ・民間企業研修:(一社)日本販路コーディネータ協会 3 級、2 級、1 級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等
- ・民間企業合同開催研修:(一社)日本販路コーディネータ協会 3 級、2 級、1 級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等

◇ 公的機関等の研修講師など

公的研修:国、地方自治体、公共団体、外郭団体及びそれらに準じる組織、団体向け(一社)

日本販路コーディネータ協会研修カリキュラム講師など

◇ 学校教育授業教育など

(一社)日本販路コーディネータ協会カリキュラムでの授業教育

高校・専門学校学校向け:単科教科 ……ビジネス基礎教育向け

大学・専門学校等教科向け:販路コーディネート等……選択科目向け

◇ 認定研修センターの開設について

研修生の教育にあたっては、認定教育機関は各都道府県ごとの(複数センター開設可)研修センターとし、センターにおいては販路コーディネータについての広く深い理解と専門力を養い、その知識を高めると共に、普及啓蒙活動に努めることをその研修方針としています。

また、(一社)日本販路コーディネータ協会においては、必要な専門的知識、技能を修得させると共に、技能者として必要な本分野におけるビジネス知識を高めることをその研修方針としています。

認定教育機関の開設にあたっては、(一社)日本販路コーディネータ協会に申請書と認定教育センター連携計画書をご提出いただき、認定教育センター指定のご契約をさせていただきます。

認定研修の開講については、事前に(一社)日本販路コーディネータ協会が審査を行います。

■ (一社)日本販路コーディネータ協会認定研修センター申請について

- (1) 認定研修センター登録申請書の提出と審査
- (2) 認定研修センター年間計画書提出と契約書締結
- (3) 教育機関講師登録申請と手続きについてのご案内送付
- (4) 講師登録の届出

【ミドル 認 定 講 師】 講師としての基礎的な知識とスキルを持っている

【エグゼクティブ認定講師】 講師としての実践的な知識と応用的な知識とスキルを持っている

【資格別認定講師養成講座】 上記の資格所持者が受講し、各々の分野(資格)ごとの専門知識(2, 3 級)を教えることができる

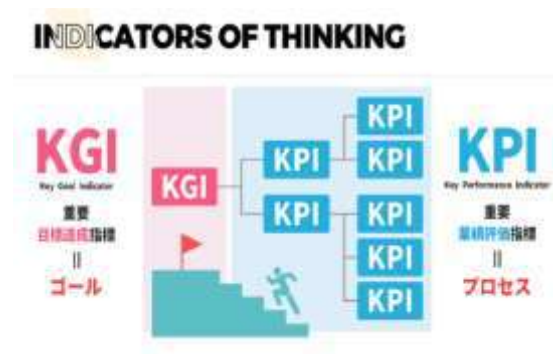
本制度に関するお問い合わせは、「MMP®総研」までお願いいたします。

【お問い合わせ】 <https://www.jmmp.jp/contact/index.html>

第 145 回 MMP®研究会 セールスステップでどのようにして実績を残すか ～企業との付き合い方～ 無料開放講座

こちらの研修は、当協会の資格をお持ちの方は無料で受講できます

ジャンル
セールスステップ・営業
対象者
新入社員、中堅・マネージャークラス
形式
オンライン



【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/mm145.html>

研修概要

■ セールスステップ研修:企業との成功につながる販売戦略

現代のビジネス環境では、セールスステップが単なる営業代行ではなく、戦略的パートナーとしての役割を果たすことが求められています。

本研修では、明確な販売戦略の設計から、限られたマーケティング予算の活用方法、ブランディングの考え方、そして認知拡大を軸にしたプル戦略の実践方法まで、セールスステップとして成果を上げるための実践的な内容を学びます。

■ この研修で得られるもの

- ・ 戦略的に設計された販売プロセスの構築方法
- ・ マーケティング予算を最大限に活かす施策設計力
- ・ ブランド価値を高める視点と活動の考え方
- ・ 顧客との信頼関係を築くセールスコミュニケーションの力
- ・ KPI と KGI の違いを理解し、成果に結びつける分析力

■ このような方に最適な研修です

営業職の方（セールスレップ）

売上だけでなく、長期的なパートナーシップを見据えた提案力を磨きたい方に。

中小企業の経営者 マーケティング担当者

明確な戦略設計と低予算でも実現できるマーケティング施策を学びたい方に。

スタートアップ 新規事業開発者

初期の売上不安やマーケティングの「掛け捨て」に悩む事業者に。

法人営業に関わる方

顧客企業の課題に寄り添いながら、継続的な取引につなげたい BtoB 営業担当者に。

■ 本研修のポイント

明確な販売戦略の設計

「とりあえず売る」では成果は出ない。売上目標の設定、市場選定、ターゲットの絞り方を学び、企業にとって信頼できる提案者になるための土台を築きます。

マーケティング予算の確保

初期のマーケティングは掛け捨てではなく、積立型の資産として考え、限られた予算でも最大効果を出す方法と、クライアントへの提案にも役立つ設計力を養います。

赤字スタートを恐れないマインドセット

最初から黒字が出るとは限らない。初期投資を「未来への必要経費」と捉え、長期的な視点で利益を生む営業活動の設計を学びます。

プッシュ戦略 vs. プル戦略

「売り込む営業」から「引き寄せる営業」へ。認知と共感を軸にしたプル戦略の意義と、ファンを生む仕組みを構築するための考え方を解説します。

【講師】 谷尾 祐希（タニオ ユウキ） セールスレップ 1 級（株）ネナロ

【日時】 2025 年 7 月 19 日（土）15:00～16:30

【会場】 オンライン配信（Zoom ミーティング）

【セミナー参加費】 協会会員 無料 / 組合員 無料 / 一般 税込 5,500 円

【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/mml45.html>

【お申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/v5/form.cgi>



日本観光文化協会 主催】

白書を発行した観光庁の担当官によるリアル生講義 「観光白書セミナー2025」

<https://www.jtcc.jp/event/kankohakusho.html>

ジャンル

観光、その他

対象者

観光関係従事者、
その他の方も可

形式

オンライン



料金

無料

研修概要

観光白書セミナー

観光白書は観光立国推進基本法の規定に基づき、観光の状況及び政府が観光立国の実現に関して講じた施策並びに観光に関して講じようとする施策について、毎

年国会に報告しているものです。

令和 7 年版白書では、観光立国推進基本計画に掲げる「国内交流拡大」に着目した分析を行いました。持続可能な観光立国を実現するには、力強い成長軌道にあるインバウンド市場に加え、市場規模の大きい日本人の国内旅行市場の活性化が不可欠です。

今回のセミナーでは、最近の観光動向の分析に加え、地方部における消費動向の分析や地域での取組事例の紹介を通じ、日本人の国内旅行の活性化に向けた施策等についてご紹介します。

このような方に最適な研修です

観光業関係者・自治体担当者（セールスレップ）

地域ブランディングや観光促進を担当するマーケティング担当者

大学教授・専門家・学生

観光政策や地域開発について研究している大学教授や、観光学を学ぶ学生、最新のデータや事例に触れたい方

事業者・起業家

観光関連のビジネス(飲食、宿泊、体験型サービスなど)を運営する経営者

地域住民・まちづくり関係者

自分の住む町の観光振興に貢献したいとお考えの方

講師紹介

観光庁 當麻江美 講師

観光庁 観光戦略課 観光統計調査室室長

日時	2025 年 7 月 23 日(水) 15:30～17:00
会場	リアルオンライン(研修終了後に講師と質疑応答を実施)
セミナー 参加費	無料
申込締切	2025 年 7 月 17 日(木)
お申込み	https://www.jtcc.jp/cgi-bin/kanko/form.cgi

Gmail 側のセキュリティ強化により、下記の状態になる恐れがございます。

- ・ 当協会事務局からのメールが届かない。
- ・ 貴殿からのメールが届かない。

現在 Gmail は、上記のようなトラブルが発生するとの Google の注意事項がございますので、大変お手数ですが

①なるべく Gmail 以外のメールアドレスを使用してください。

②「support@hanro.jp」からの受信許可設定をしてください。

第 143 回 MMP 研究会 場おこし講座 『観光 5 資源体系』

様々な視点からまちづくりに取り組んでいる講師が、場おこし、まちづくりについて学び・考える場として、場おこし講座を開催します。

【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/mm143.html>

場おこし・場おこし講座とは

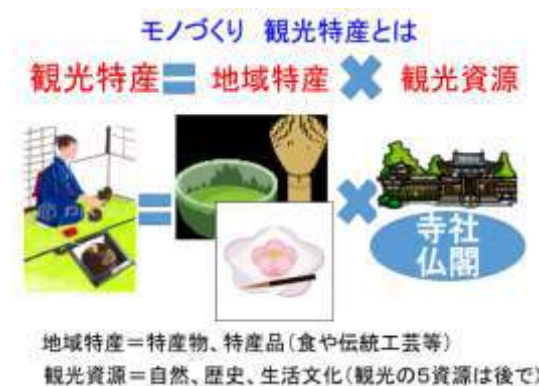
「場おこし」とは、「地域資源」を掘り起こし、場起こし(発掘)場興し(振興)により街づくりにつなげてゆく活動のこと。

現在の「場おこし」の講座活動は、場を掘り起こすこと(場起こし・発掘)と、空間を創造し、場を振興すること(場興し・盛んにする)の2つの考え方から、講義が行われています。



場おこし講座 内容

- ①特産品・特産物製品評価表
- ②観光特産評価シート
- ③MMPツール
- ④イベント
- ⑤観光5資源体系
- ⑥観光特産たんけん隊
- ⑦場おこし活用のフィールドワーク
- ⑧地域発掘調査
- ⑨観光商品テーマ別評価シート
- ⑩地域評価

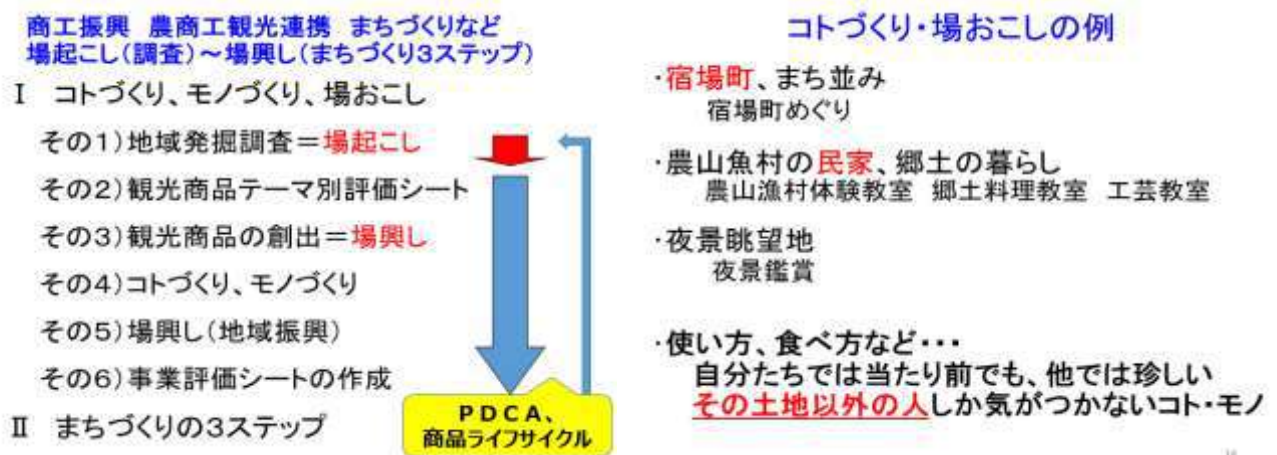


モノづくり、コトづくり、場おこしの視点

- 1.「観光特産」とは何かの復習 農水産商工観光連携から観光特産へ
- 2.「場おこし」の具体的方法を伝授 モノづくり、コトづくり、場おこしの視点
- 3.自分の立場、相手の立場で考える
- 4.「地域の面白いこと」を評価する

これまで公的支援機関などで行われた「場おこし講座」の事例

- ・ 観光特産や地域資源を観光資源 5 体系等で地域資源を活用する、等の講義
- ・ 観光特産とは何か、「場おこしフィールドワークの対応」への対応などの講義
- ・ 観光特産の 5 資源体系について
- ・ 「フィールドワーク」で地域資源を発掘！
- ・ 「MMP グループワーク」で地域の魅力进行评估！
- ・ 実践、地域振興につなげる、など。



【講師】 北 賢治 (キタ ケンジ)
(一社) 日本観光文化協会 事務局長

【配信予定】
2025 年 8 月 2 日(土) 15:00～16:30

【会場】 オンライン配信

【セミナー参加費】

協会会員 税込 3,300 円 / 一般 税込 5,500 円 / 組合員無料

【申込〆切】 2025 年 7 月 24 日(木)

【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/mm143.html>

【お申込み】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/v3/form.cgi>



MMP®リーダー研修

企画担当者向け「MMP スキルアップコミュニケーション」

MMP リーダー リアル研修内容

ジャンル
ビジネスコミュニケーション
形式
リアル会場



MMP スキルアップコミュニケーション

MM ツールのひとつである「MMP スキルアップコミュニケーション」の理論の説明とワークを行います。

従来の一方通行型コミュニケーションを革新し、評価者（視聴者・参加者）を交えた三方向対話で課題解決力を飛躍的に向上。目的指向型伝達・感情コントロール・非言語コミュニケーション・フィードバック活用の4大要諦を、実践ワークを通じて習得。アクティブリスニング技術や態度別応答法を伝授。参加型ロールプレイで即戦力が身につく150分。

ヒアリング能力をはじめ、リーダーシップ変革や顧客関係構築に役立つコミュニケーション術を習得し、パフォーマンス向上を実現しましょう。

アジェンダ

- MMP スキルアップコミュニケーションとは…
- MMP スキルアップコミュニケーションの要諦
- 効果的なコミュニケーションのポイントとスキル
- MMP スキルアップコミュニケーションの活用場面・方向
- リアルでのグループワーク

◇このような方に最適な研修です

企画担当者

企画会議でのコミュニケーションをブラッシュアップしたい方。リーダーシップや関係構築に役立て、パフォーマンス向上を実現させたい方。

経営支援従事者、組織開発担当者

組織の課題解決力を高め、戦略的なコミュニケーションを強化したい方

地域活性化従事者(コーディネータ・観光振興担当)

地域資源の活用において、深層ニーズを引き出すコミュニケーションを学びたい方

教育関係者(キャリアアドバイザー・大学教員)

学生の主体性を引き出し、対話を通じた成長を促したい方

次世代リーダー候補

経営力評価表を活用し、実践的なスキルを身につけたい方

MMP リーダー研修について

【内容】 マネジメントマーケティングを活用したプログラムを学ぶプログラム研修。

MMP リーダーは、MMP ワンシート企画書や MMP 戦略シート A・B など、自分の資格の MMP ツールを活用して MMP 研修を実施できます。

この研修では、自分がプロジェクトのリーダーとして、MMP 戦略会議を開催し、実施する際のイメージをつかむことができます。

【参考】 MMP ワンシート企画書について

A4 または A3 の一枚の紙で企画の全体を説明する手法。

時間の制約がある経営陣やオーナー社長などにプレゼンする際に効果的。

ワンシート企画書は、事業計画書以上に分かりやすく、あなたの思いを伝えることができます。



講師紹介

【尾中 謙治（オナカ ケンジ）】

マネジメントマーケティング・コーディネーター

販路コーディネータ 1 級

MMP リーダー

エグゼクティブ認定講師

MMP 総合研究所 主任研究員



テーマ 日時	MMP®リーダー研修 テーマ「MMP スキルアップコミュニケーション」 実施日:2025 年 9 月 13 日(土) 時間:14:00～16:30
会場	東京都立産業貿易センター台東館
セミナー 参加費	※今回使用する「MMP®リーダーの手引き(改定新版)」は、ファシリテーターと課題提供者の2名、ダブルスタンダード等の内容が含まれた改定新版です。別途お求めください。 ◇受講料 【会員】5,500 円(税込) 【一般】7,150 円(税込) ※JRM セールスステップ・販路コーディネータ協同組合組合員は受講料無料 ※新規参加者 テキスト「MMP®リーダーの手引き(改定新版)」+DVD「基本講座」セット 3,300 円(税込) ※MMP リーダー申請者 申請・審査料 3,300 円(税込) 【協会会員申込フォーム】 https://www.jtcc.jp/cgi-bin/l2/form.cgi 【一般申込フォーム】 https://www.jtcc.jp/cgi-bin/n2/form.cgi
申込締切	2025 年 9 月 12 日(金)(入金締切も同日) (この日以降にお申し込みされる方は、研修当日に研修料をご持参ください)

第 146 回 MMP®研究会 セールスレップ IT インターネット 活用セミナー「Z 世代と昭和世代のギャップを埋める」コミュニケーション術

【概要】

現代は、IT や AI などの新しいテクノロジーを導入それだけのマーケティングでは不十分、デジタル技術を活用し、企業の全体戦略や組織改革、業務プロセス、提供価値の根本的な変革を促す「DX(デジタルトランスフォーメーション)」と連動させることが不可欠です。特に「活用」と「依存」のバランスを見極めることが、成功への鍵となります。



本研修で、デジタルマーケティングを活用した戦略的な施策と、プロダクトマーケティングおよび DX の具体的な目的の違いを理解することで、企業はよりの確なマーケティング施策を展開できます。また、セールスレップや販路コーディネーターは、顧客に対してより説得力のあるビジネス提案や企業戦略の提示が可能となります。

さらに、本研修では顧客とのコミュニケーションに必要な IT 関連情報に焦点を当て、セールスレップや販路コーディネーターが理解しておくべき重要な技術や用語を紹介します。またそれらを活用し、DX 時代のマーケティング戦略に焦点を当てながら、実践的な活用方法について詳しく解説します。

【こんな方におすすめです:全年代向け】

- ・IT 関連の営業や販路開拓に関わる方
- ・顧客との誤認識を防ぎながら円滑にコミュニケーションを取りたい方
- ・専門用語を適切に使い、相手の理解度を確認しながら対話を進めたい方
- ・Z 世代のセールスレップや昭和世代の経営者との対話に悩んでいる方
- ・世代間ギャップを乗り越え、効果的にコミュニケーションを図りたい方
- ・令和時代に適応するためのリスクリングを考えている方

【IT 営業の誤認識を防ぐ！世代を超えたコミュニケーション術】

IT 関連でのコミュニケーションで最も注意しなければいけないのが双方の誤認識です。双方で理解しているつもりでも、顧客が完全に理解しているかどうか理解度を逐一確認しつつ専門用語を適切にコントロールしながら慎重にコミュニケーションを取りながら話を進めて行く必要があります。多少面倒でもこのプロセスを曖昧にしまうと結果的に大きな問題や時間的ロスが生じます。

よって、セールスレップや販路コーディネーターは自らの知識を初心者・中級者・上級者用に整理しておくとか、テクノロジーの役割と目的を双方で共有できているかなどを確認しながら決裁者にも担当者にも通じるようなコミュニケーション能力が必要になってきます。

今回の講義では昭和生まれのセールスレップが令和時代のセールスレップに脱皮する為のリスクニング、

また Z 世代のレップと昭和世代の経営者との対峙についてなど、世代間ギャップを埋めるコミュニケーション術をできるだけ分かりやすくご説明させていただきます。

年代を問わずどなたでもご参加いただける内容になっていますので、奮ってご参加下さい。

【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/mm146.html>

【講師】本庄一裕 (ホンジョウ カズヒロ)

株式会社ナイキスト代表取締役 セールスレップマイスター
販路コーディネーター1 級 エクゼクティブ認定講師
場おこし講座 認定講師



【日時】 2025 年 9 月 27 日 (土) 15:00～16:30

※日にちは変更になる可能性がございます

【会場】 オンライン配信 (Zoom ミーティング)

【セミナー参加費】

協会会員 税込 3,300 円 / 一般 税込 5,500 円 / 組合員無料

【申込〆切】 2025 年 9 月 18 日 (木)

【入金〆切】 2025 年 9 月 21 日 (日)

【詳細はこちら】 <https://www.jtcc.jp/event/mm146.html>

【お申込み】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/v6/form.cgi>

【ご注意】

Gmail 側のセキュリティ強化により、下記の状態になる恐れがございます。

- ・当協会事務局からのメールが届かない。
- ・貴殿からのメールが届かない。

現在 Gmail は、上記のようなトラブルが発生すると Google の注意事項がございますので、大変お手数ですが

- ① なるべく Gmail 以外のメールアドレスを使用してください。
- ② 「support@jtcc.jp」からの受信許可設定をしてください。

【セールスレップ・販路コーディネータ協同組合 主催】

組合まつり in TOKYO (東京国際フォーラム)開催

10 月 29 日(水)～30 日(木)

イベント概要

2025 年 10 月 29 日(水)と 30 日(木)に、昨年に引き続き国際フォーラム(有楽町駅)を会場として「組合まつり in TOKYO」に出展します。

「JRM セールスレップ販路コーディネータ協同組合」、「(一社)日本販路コーディネータ協会」、「(一社)日本観光文化協会」の合同三事業者の MMP グループで、「日本観光特産大賞」、



「日本プロモー

ション大賞」、「協同組合マーケティング企業支援クラブ」を中心に展開する予定です。また、過去に「ゆりかもめ東京ビッグサイト駅のビッグサイト」で大々的に行われた MMP グループの観光特産関連即売会、試飲会などの活動を行った展示、頒布会、企業支援活動などの活動からコンパクトに最新情報を紹介します。

展示会では日本観光特産大賞受賞商品の紹介も予定しています。

組合まつり in TOKYO」出展のご案内

出展参加者申込受付中 東京国際フォーラムにて開催される「組合まつり in TOKYO」

において、展示ブースを出展できる機会を頂戴いたしました。

つきましては、出展をご希望される方に、以下のいずれかの方法にてご参加いただけますようご案内申し上げます。**出展料は無料です。**

- ・会場にお越しいただき、展示を行う
- ・展示物を事前にご送付いただき、スタッフが代理で展示を行う

皆様の取り組みを広く発信できる貴重な機会となります。ぜひご参加をご検討ください。

【詳細はこちら】 https://www.e-rep.jp/event/kumiai_fes.html

昨年の様子



日時	2025 年 10 月 29 日(水)、30 日(木) 10:00～
会場	東京国際フォーラム・ホールE（東京都千代田区丸の内三丁目5番1号）
セミナー 参加費	無料
主催者 HP	https://kumiai-matsuri.jp/

MMP®リーダー研修 11 月 15 日(土)開催予定 ～MMPe ラーニングオンライン研修による新たな解決策のアクションプラン作成を伝授～ テーマ「農林水産業×フードバンク」 地域金融機関との連携事業

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/event/mmp_bosyuu.html

◆MMP e ラーニングオンライン研修について

MMP e ラーニングオンライン研修は、ファシリテーターと課題提供者の2名で事前に協議の上、以下の基本に沿って行う



参加者全員で学び、考える



I. MMP e ラーニングは以下の5つの要素で構成される

- 1.リアルな課題:実際の業務課題や経営課題をテーマにする
- 2.少人数のグループ(セット):4～8人程度のチームで取り組む
- 3.積極的な質問と対話:本質的な問題を見極めるための質問を重視
- 4.行動と実践:単なる議論ではなく、実際に行動を起こす
- 5.リフレクション(振り返り):行動後に学びを深める

II.ダブルスタンダードオンライン MMP 研修

ファシリテーターの役割の一つの例として:

ソリューションとは

- (1)コミュニケーション
- (2)ファシリテーション
- (3)リーダーシップ

Ⅲ. 具体的な進め方

(1) 課題の設定

実際に解決すべき業務課題を選ぶ(例:「新商品の販路開拓」)

チームメンバー全員が関心を持てるテーマにする。

(2) チーム編成

4〜8名のメンバーを選定。異なる部署や専門性の人を組み合わせると学習効果が高まる。

(3) 質問と対話による問題の掘り下げ

まずは「質問」のみで対話を進める。

例:「この問題の本質は何か？」

「なぜこの課題が発生しているのか？」

解決策を議論する前に、課題の本質を明確にする。

(4) 解決策のアクションプラン作成

問題が明確になったら、実行可能な解決策を考える。 SMART の法則(具体的・測定可能・達成可能・現実的・期限付き)で設計。

(5) 実行(アクション)

各メンバーが役割を持ち、実際に行動する。例えば「テストマーケティングを実施する」「新規顧客リサーチを行う」など。

(6) 振り返り(リフレクション)

実行した結果を共有し、学びを整理。

「何がうまくいったか?」「どんな新たな気づきがあったか?」を深掘りする。

(7) 学習の共有と次のアクション

組織内で成果を共有し、継続的な改善につなげる。

◇ この研修で得られるものこの研修で得られるもの

●ソリューションの方法が学べる

●社内外でのコミュニケーションのとり方が分かる

●リーダーシップをどうとるかを教える

≫これらができるような人材を育成します。

◇ このような方に最適な研修です

販路、商品開発に関心のある方

販路コーディネーター、マネジメントマーケティング・コーディネーターなど、商品開発に従事する方。

販売や営業の担当者

販売や営業に係わる方で商品開発に興味がある方。

観光特産士など観光特産やまちおこしなどに携わっている方

観光プランナー、観光士、観光コーディネーター、観光特産士など観光特産やまちおこしなどに係わる方。

行政関係者や企業の担当者

MMP を体験して、自分のプロジェクトに活かしたい方、その他。

MMP リーダー研修について

【内容】 マネジメントマーケティングを活用したプログラムを学ぶプログラム研修。MMP リーダーは、MMP ワンシート企画書や MMP 戦略シート A・B など、自分の資格の MMP ツールを活用して MMP 研修を実施できます。この研修では、自分がプロジェクトのリーダーとして、MMP 戦略会議を開催し、実施する際のイメージをつかむことができます。

※MMP ワンシート企画書について

A4 または A3 の一枚の紙で企画の全体を説明する手法。時間の制約がある経営陣やオーナー社長などにプレゼンする際に効果的。このワンシート企画書は、事業計画書以上に分かりやすく、あなたの思いを伝えることができます。

◇ 講師紹介

【北 賢治（キタ ケンジ）】

日本販路コーディネータ協会事務局長。セールスステップマッチング、販路コーディネート事業。公的販路開拓支援事業における中小企業の支援アドバイザーとして我が国の販路コーディネータのリーダーとして活動。セールスステップ・マイスター、販路コーディネータ1級、JMC 認定講師、日本観光士会認定講師、経済産業省認可セールスステップ・販路コーディネータ協同組合事務局長、MMP®統括リーダー。



【笠谷 圭児（カサタニ ケイジ）】

セールスステップ・販路コーディネータ協同組合副理事長。製造の現場に立って、課題・問題と向き合うというスタンスで、主として商品開発や生産管理の支援を行ってきた。「人に地域に企業に夢を！」を社是に活動している。食品製造会社の基幹業務を歴任し、退職後は、マネジメントマーケティング理論を学び、コンサルタント株式会社 クライムエイド 代表取締役として独立。

テーマ
日時

MMP®リーダー研修 ～MMPe ラーニングオンライン研修による新たな解決策のアクションプラン作成を伝授～
テーマ「農林水産業×フードバンク」地域金融機関との連携事業

実施日：2025 年 11 月 15 日（土）
時間：13:30～16:30

申込締切

2025 年 11 月 14 日（金）（入金締切も同日）
（この日以降にお申し込みされる方は、研修当日に研修料をご持参ください）

会場

オンライン配信

セミナー
参加費

※今回使用する「MMP®リーダーの手引き(改定新版)」は、上記のファシリテーターと課題提供者の2名、ダブルスタンダード等の内容が含まれた改定新版です。別途お求めください。

◇受講料

【会員】5,500 円(税込)

【一般】7,150 円(税込)

※JRM セールスステップ・販路コーディネータ協同組合組合員は受講料無料

※新規参加者

テキスト「MMP®リーダーの手引き(改定新版)」+DVD「基本講座」セット
3,300 円(税込)

※MMP リーダー申請者

申請・審査料 3,300 円(税込)

【協会会員申込フォーム】

▶ お申し込みはこちら

【一般申込フォーム】

▶ お申し込みはこちら

申込締切

2025 年 7 月 9 日(水)(入金締切も同日)

(この日以降にお申し込みされる方は、研修当日に研修料をご持参ください)

観光プランナーを団体で受験を希望される 学校・企業・団体様へ

会員の方で学校関係、大学や専門学校で、団体で受験したい先生や生徒さんは、下記にある受験の詳細からお問い合わせください。企業、団体などでの受験も同様とさせていただきます。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/kankoshi/kankoushi_dantai.html

■ 学校、学習塾、企業などの団体で原則5名以上集まれば、団体受験として申込みが可能です。

- ・一斉試験(団体)…10%割引
- ・研修小試験(団体)…20%割引

■ 受験日当日は、それぞれの団体で用意する会場(認定会場)で行っていただきます。

■ 一斉試験では、当協会が開催している6月、11月の日時以外でも指定が可能となります。ご相談ください。

- ※ 初級のみ日時指定可となります。
- ※ 団体受験では、試験監督を1名置いていただく必要があります。
- ※ 申込責任者に団体の取りまとめをお願いいたします。
- ※ 申込責任者は受験できません。

■ 団体申込みには、下記「団体控除(学生の場合の割引参照)」が適用されます。旅行代理店様、交通機関様、観光サービス業者様、流通・フード関連企業様、その他関連企業様など団体単位でのお申込みも割引適用(10%団体割引)としております。

■ プランナー研修・試験合格者は、観光士研修・試験に進むことができます。団体受験・受講手続き方法企業、団体等で受験・研修受講される場合は、上記の内容をご確認いただき、お問い合わせフォームからご申請ください。

■ 観光士研修・試験に進む方は資格登録が必須となります。

■ 特典__5名以上の場合の団体受験、お申し込みについての割引適用

【受験手続】

学校、企業、団体等で受験・研修される場合は、下記の内容をご確認いただき、申込責任者の方が下記のお問い合わせフォームよりご申請ください。

【お申込みフォーム】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>



■ 観光プランナー団体受験の流れ

1、受験者の募集

団体受験が決定しており、協会にて、団体内募集用のパンフレットをご用意しておりますので、ご利用ください。

2、受験者の集約、検定料の集金

各級・科目ごとに、申込人数を確定してください。各申込者から、お申し込みの前に検定料を集めてください。テキストにつきましては、申込書にご記載の上、一括指定銀行口座までご入金ください。ご入金確認次第、テキストを一括送付させていただきます。

3、協会より申込責任者宛に申込受理のメールを送信

お申し込み時に、E メールをご記入いただいた団体には、申込受理の旨を E メールにてお知らせいたします。

4、お振り込み

申込期限内に、協会の指定銀行口座まで検定料をご入金ください。

5、協会より申込責任者宛に試験問題等を URL 送付または郵送(準会場設営団体に対してのみ)

＜オンライン受験実施の場合＞ 検定日の4～5日前に、試験問題の URL をお送りいたします。

＜紙の試験の場合＞ 検定日の4～5日前に、準会場用の試験問題、解答用紙等検定資材をお送りいたします。不備がないか、中身をご確認ください。検定日の3日前になっても資材が届かない場合は、必ず協会までご連絡ください。

6、試験

公開会場受験者は、協会が指定した公開会場にて、他の一般受験者と一緒に受験します。

準会場受験者は、各団体の申込責任者が定めた準会場にて、申込責任者の監督のもとで受験します。

申込責任者は、厳正公平に試験を実施してください。

7、結果通知

申込責任者宛に、合否にかかわらず受験者全員分の結果通知を郵送します。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/kankoshi/kankoushi_dantai.html

【お問い合わせ先】 日本観光士会 一般社団法人日本観光文化協会内アクセス

お問い合わせフォーム <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>



モーイブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集！

通勤通学時間を利用したスマホ視聴で認定資格講座が1ヶ月で学べる「モーニング・イブニング講座」が、いよいよ今期から開催されました。

MMP 総研は、社会人教育の基礎講座として「商品開発」「販路コーディネータ」「販売促進・広報」「観光コーディネータ」など 7 つの講座をモーニング・イブニング講座として開講しています。

MMP 総研の通学通勤講座「モーニング・イブニング講座」は1か月で学べ、朝と夕方の通勤電車の中でスマホを使って講義を視聴でき、しかも小試験も通勤中に手軽にできるという、正に「OMO (Online Merges with Offline)」デジタル(オンライン)を前提として、リアルの世界(オフライン)もデジタルの中に包含して捉えようという考え方を取り入れた画期的な講座です。

法人・団体において、人材育成のオンライン化、リスクリリングといった需要に対応しており、販売力、システム力、コンテンツ力、組織力を高めるお手伝いをしています。もちろん個人の学習にも対応しています。

「モーニング・イブニング講座」とは、「モーニング講座コース:平日 AM6 時～9時迄」「イブニング講座コース 平日 AM11 時～PM9 時迄」の時間帯を設定し、資格別・コース別に講師が担当する講座です。資格の勉強を始めたいけど、忙しくてその一歩が踏み出せない。

そんな悩みを解決するために生まれたのが、忙しい人専用の学習法「スタディング」です。これは「いつでも、どこでも、学べる」講座です。

そのような「モーニング・イブニング講座」の講師をやってみませんか？

MMP グループの資格を持っている方なら、だれでも応募できます。新しいチャレンジにジャスト・トライ・イット・・・。



【詳細はこちらから】 <https://www.jnmp.jp/study/index.html>

【研修講座のご案内】 <https://jnmp.jp/study/hanro/shikaku.html>

【モーイブ講座の講師を希望の方はここからの問い合わせから】
<https://www.jnmp.jp/cgi-bin/institute/form.cgi>

MMP 総研 研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～

最上位資格者は、MMCO (マネージメントマーケティング・コーディネーター)を受験することができます。さらに、MMCO 資格者は、他の条件(下記)を取得すると研究員に応募できます。



MMP®総研は、「一般社団法人 JMC 日本販路コーディネータ協会」及び「一般社団法人 JTCC 日本観光文化協会」を核に、調査・研究活動等に取り組んでいます。当研究所の名称でもある MMP®は、マネージメントマーケティング・プログラムの略称であり、当グループのコンセプトである「モノづくり、コトづくり、場おこし」＝「人づくり」や、MM(マネージメントマーケティング)の考え方をベースにした MMC、MMP®の普及を目指している。学生やビジネスパーソン の成長を広く支援することこそが、MMP グループに与えられた大きな取り組みのテーマであると考えています。

【詳細はこちらから】 <https://www.jmmp.jp/research/index.html>

【事業ミッション】「コトづくり、モノづくり、バおこし、人づくり」

「コトづくり、モノづくり、バおこし」における継続的な人材育成連携ネットワークを目指す。MMP 総研から各学校への授業講師派遣、各都道府県への講師派遣も行っている。

【MMP®総研の役割】

- (1) 人材育成の在り方の調査・研究と必要な教材の開発
- (2) 人材育成講座の研究、開発、実施
- (3) 専門家集団としての資質の向上
- (4) MMP®研究の募集と評価
- (5) コンサルティング技法の研究・開発
- (6) 研究・開発の登録及び内外への啓蒙活動
- (7) マネージメントマーケティングに関する情報の収集及び分析
- (8) 中小企業経営、マーケティング、販路開拓、商品開発支援活動
- (9) マネージメントマーケティング・コーディネーター (MMCO) の研究員募集と審査登録
- (10) その他、上記に関連する必要な諸活動



【一般研究員募集】 申込みは 2024 年 6 月末を締切とし、8 月中の審査

【一般研究員申請の条件と申請方法】 以下 3 資格の全取得者

- ① マネージメントマーケティング・コーディネーター
- ② ミドル認定講師
- ③ MMP®リーダー取得者 (統括リーダーまでは必要なし)

【登録詳細】 <https://www.jmmp.jp/research/index.html>

紙の本と学ぶ映像 MMPコミュニケーション

◇ あなたも本を一冊創りませんか

～自分流出版！自分の生き方本を有名書店に並べよう～

MMP コミュニケーションは、あなたの「本づくり」をお手伝いします。ジャンルは「商品開発」「営業・販売」「販売促進」「観光」「観光特産」「マネージメント」「マーケティング」分野に限ります。

【出版規定】

- ・A5版、約 160 頁(本文モノクロ)
- ・表紙デザイン(カラー)は協会規定のもの
- ・完全原稿(pdf データ)で書籍の規定の形で入稿できる方
- ・印刷用 pdf データにご対応いただける方

制作する本は、大手書店ならびにオンライン書店などに流通させる

ISBN コード(図書バーコード)を正式に割り振り、著名なサイトで販売も可能です。たとえば、MMP コミュニケーションの書籍が大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」で紹介されています。お気軽にお問い合わせください。

【詳細】 <https://www.jmmp.jp/mmmp/publication.html>

【お申込み】 mmmpc@jmmp.jp MMP コミュニケーションまで

◇ 出版物紹介

<https://www.jmmp.jp/mmmp/books.html>

MMP コミュニケーションの書籍は、大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」でも紹介されている。



◇ DVD 販売のご紹介

【ご案内はこちら】 <https://www.jmmp.jp/mmmp/dvd.html>



スマホで！パソコンで！

**MMP コミュニケーションの
動画配信サービスが始まります！！**

【ご案内はこちら】 <https://www.jmmp.jp/mmmp/Test-video-contents.html>



JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中！

セールスレップ・販路コーディネータ協同組合は、販路コーディネータ・セールスレップ資格保有者に限らず、観光資格保有の方(観光士以上／観光特産士2級以上)も加入が可能な組合で、生涯学習できる場、交流できる場が広がる。

JRM プレミア組合員(個人組合員)になると、下記のセミナー・研修、講習会に無料で参加できる。

- ・MM 研究会:年 10 回程度、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・MMP リーダー研修:年 2 回開催、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・スキルアップ研修:1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・認定講師更新料:ミドル認定講師年間更新料 年間 5,500 円(税込)

専門家との出会いの場があり、他業界との情報共有も可能である。

■JRM プレミア組合員(個人組合員)

法人格を持たない(青色申告事業者を除く)個人の方を対象とした制度です(ただし、個人組合員は、組合総会には出席できません)。申請書類等をご提出していただき、理事会の審査を経て登録となります。地域の制限はありません。

※入会金:20,000 円、年会費:
12,000 円(一括支払い)

組合の年会費を払えば、協会主催の各種セミナー・講習会が無料になるため、多く参加すればするほどお得になるといったメリットもある。加入を検討する中級レベル以上の資格保有者が増えている。

JRM セールスレップ・販路コーディネータ協同組合
(レップ販路観光コーディネーター協同組合)

JRM プレミア組合員 (個人組合員)

プレミアム組合員になると、下記セミナー・講習会に無料で参加できます。

条件

中級以上の資格保有者

- ・日本観光文化協会一級認定資格
- ・実業士2級以上
- ・日本セールスレップ協会
- ・セールスレップ2級以上
- ・日本販路コーディネータ協会
- ・販路コーディネータ2級以上
- ・日本観光特産士協会
- ・プロモーションアドバイザー
- ・日本観光士会一級以上
- ・または観光特産士2級以上

・MM 研究会 (年 10 回開催、1 回あたり協会会員:3,300 円税込)

・MMP リーダー研修 (年 2 回開催、1 回あたり協会会員:3,300 円税込)

・スキルアップ研修

・キャリアアップセミナー (1 回あたり協会会員:3,300 円税込)

・認定講師更新料 (ミドル認定講師年間更新料 年間 5,500 円税込)

・家業登録している方
・転職前に申告申告している方
はごめら

真正組合員

当協会の活動に賛同して賛助員として加入頂く必要。団体は申込確認後、オンラインにて登録を行います。申請書類等を提出していただき、理事長の審査を経て組合員登録、法的承認となります。

入会金 20,000 円
年会費 12,000 円

専門家との出会いの場があり、他業界との情報共有ができます。

JRM レップ・販路CO協同組合

【詳細・お申込】 <http://www.e-rep.jp/rep-kiyaku.html>

MMPグループ・ホームページ & 資格研修スケジュール

ご 案 内 ホ ム ペ ー ジ	
観光プランナー・観光士・観光コーディネーター資格	https://www.jtcc.jp
観光特産士会・観光文化協会	https://www.jtmm.jp
販路コーディネータ・MMCO資格	https://www.hanro.jp
営業士資格	https://www.nrep.jp
商品プランナー・商品開発士・商品開発コーディネーター資格	https://www.jmcp.jp
セールスステップ・販路コーディネータ協同組合	http://www.e-rep.jp
セールスステップ資格	http://www.jrep.jp
プロモーション資格	https://www.jsp.or.jp
2025 年下期全国一斉試験	
2025 年 11 月 9 日(日)	
日本観光士会資格認定研修プログラム ※最新はホームページをご覧ください	
<u>観光プランナー研修</u>	2025 年 7 月 13 日(日) 研修+オンライン小試験 2025 年 8 月 30 日(土) 研修+オンライン小試験
<u>観光士研修</u>	2025 年 7 月 5 日(土) 研修+オンライン小試験 2025 年 10 月 4 日(土) 研修+オンライン小試験
<u>観光コーディネーター研修</u>	2025 年 9 月 20 日(土) 研修+オンライン小試験 2025 年 12 月 7 日(日) 研修+オンライン小試験
日本販路コーディネータ協会資格認定研修プログラム	
<u>販路コーディネータ 3 級研修</u>	2025 年 9 月 7 日(日) 動画研修+試験 2026 年 3 月 22 日(日) 動画研修+試験
<u>販路コーディネータ 2 級研修</u>	2025 年 7 月 27 日(日) 動画研修+試験 2025 年 10 月 18 日(土) 動画研修+試験
<u>販路コーディネータ 1 級研修</u>	2025 年 9 月 14 日(日) 動画研修+試験 2025 年 12 月 13 日(土) 動画研修+試験

日本商品開発士会資格認定研修プログラム	
商品プランナー研修	2025 年 7 月 12 日(土) 動画研修+試験 2025 年 9 月 21 日(日) 動画研修+試験
商品開発士研修	2025 年 7 月 19 日(土) 動画研修+試験 2025 年 10 月 19 日(日) 動画研修+試験
商品開発コーディネーター研修	2025 年 9 月 6 日(土) 動画研修+試験
日本セールスステップ協会認定研修プログラム	
セールスステップ 3 級研修	2025 年 7 月 19 日(土) 動画研修+試験
セールスステップ 2 級研修	2025 年 7 月 6 日(日) 動画研修+試験
セールスステップマイスター研修	2025 年 9 月 7 日(日) 動画研修+試験
日本販売促進協会資格認定研修プログラム	
プロモーションプランナー研修	2025 年 7 月 19 日(土)、20 日(日) 2日間 動画研修+試験 2025 年 9 月 27 日(土)、28 日(日) 2日間 動画研修+試験
プロモーションプロデューサー研修	2025 年 10 月 25 日(土) 動画研修+試験
プロモーションコーディネーター研修	2025 年 7 月 26 日(土) 動画研修+試験 2025 年 12 月 20 日(土) 動画研修+試験

観光エキスパート 2025 年 8 月号

2025 年 7 月 15 日発行

発行 (一社) 日本観光文化協会 <https://www.jtmm.jp/> <https://www.jtcc.jp/>

協力 セールスステップ・販路コーディネータ協同組合 (一社) 日本販路コーディネータ協会

お問い合わせ先 <https://jtmm.jp/contact/><https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>

※掲載されているテキスト、画像等の無断転載を禁じます。